

令和元年度 第6回 こども部会 会議録

- 【日時】 令和2年2月26日(水) 13:30~15:00 つるぎ町農業構造改善センター2階
- 【参加者】 発達障がい者総合支援センターアイリス、美馬小学校、池田支援学校美馬分校
美馬市長寿障がい福祉課、美馬市教育委員会教育研究所、つるぎ町保健センター
つるぎ町福祉課、美馬保健所、障害者支援センター小星園、
障害者支援センターかしがおか、相談支援センターイノセント
- 【会議録】 相談支援センターイノセント

<会議内容>

1. 特別支援学校送迎バスの利用について

- ・1月23日に徳島県教育委員会宛に美馬市・つるぎ町障がい者自立支援協議会こども部会から“徳島県立池田支援学校入学希望者の通学手段の確保に関する要望書”を提出した。徳島県教育委員会からはまだ正式な回答は得られていないが、池田支援学校からは、ファミリーマート周辺から乗車の方は登校便のみ(三野ファミリーマート発)ジャンボタクシーが利用できるようになるとの事(下校時はスクールバスの利用が可能)。美馬分校から乗車の方はいままで通りスクールバスに乗車できる。
- ・スクールバスについては西部だけに限らず、県内でも課題が見られている。今後も色々な問題があれば解決に向けて部会で検討していけるようにする。来年度のバス利用については県教育委員会の回答を待って、検討していく。

2. 医療的ケア児に対する支援体制について(保護者及び関係機関向けのアンケート調査について)

- アンケート調査の結果に基づき、今後の支援体制の構築について検討を行う。
- ・個別のニーズの把握が必要であるが、現在、美馬市・つるぎ町内で医療的ケア児が生活をしていない、出来ない現状がある。県外の病院に入院をしており、地元に戻ってこれない方がいるが、なぜ地元で生活が出来ないのか。近隣の医療機関では医療的ケア児に対応している病院がないなど、医療面で基盤が整っていないことも原因の一つとして考えられる。また、地域の訪問看護やヘルパーなど医療的ケア児に対する支援経験者が少なく、支援体制が整っていない事も現状。家族の介護負担についても社会資源が活用できない事、他者に任せることへの不安などから家族の負担軽減が図れていない。早期の段階から関係者が介入し、家族に寄り添えるような体制など地域で本人や家族を支えられるフォーマル、インフォーマルな社会資源が必要。対象児が少なく、またこどもを対象としている事業所がほぼない為、地域の医療や福祉関係者が研修を受ける機会も少ない。関係機関は進学などライフサイクルに応じて情報提供が出来る体制、個別ケースに対応できるような仕組みやマニュアルがあった方がいいのではないかとの意見があった。
 - ・今後の取り組みとして今回、提起された意見を整理し、協議をしていく。

◇次回開催：令和2年4月15日(水曜日)